

## アントロポゾフィー医療講座

### — こどもたちの集中力と共感力を育てるために —

～ メディアやデジタル機器について考える ～

私たち大人が、こどもたちの健やかな成長を願う時、気になることはいろいろありますね。体の成長、心の成長、社会性、学力などなど…

アントロポゾフィー 医学では、こどもの発達を観るときに、体の成長を基盤として心や社会性がどう発達していくかを観ていきます。そして、その成長を支える環境も大切だと考えます。今回は、特に集中力と共感力をどう育てるか、という視点から、脳生理学やアントロポゾフィー 医学の視点からお話ししたいと思います。学童期や青年期になって問題化することが多い、集中力や共感力、つまり学習や社会性につながる力は、現代社会では幼児期から損なわれやすい環境となっています。一緒に考えることができればと思います。

■ 日 時 : 2018年7月13日(金) 10時～12時

■ 場 所 : 小さいうち自由クリニック (福津市宮司浜 2-16-38)

\* 参加費 : 1500円

\* 講師 : 安達 晴己 (医師、アントロポゾフィー医学認定医師)

\* 定 員 : 20名

\* 託 児 : 500円 (要予約)

#### 【お申し込み】

講座名を明記の上、お名前、連絡先を事務局までご連絡ください。  
託児のある方は、一週間前までにお子さんの名前、年齢、アレルギーの有無をご連絡ください。

<主催・お申し込み・お問い合わせ>

NPO法人賢治の学校ふくおか 事務局

〒811-3311 福岡県福津市宮司浜 2-35-1 tel&fax 0940-62-6608

e-mail: kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp http://www.kenjinogakkou-fukuoka.com

#### ・講師プロフィール 安達 晴己

医師、アントロポゾフィー医学認定医。

医師として研修後、子育てを通してシュタイナー教育と出会う。

賢治の学校ふくおかの活動に参加。親としてたんぼぼこども園の設立に関わる。現在も理事、園医を務める。

2010年アントロポゾフィー医学の認定医を取得。

通常医学の診療所に非常勤として勤務。アントロポゾフィー医療を自由

診療で行う、小さいうち自由クリニックを福津市に2011年11月に開所。

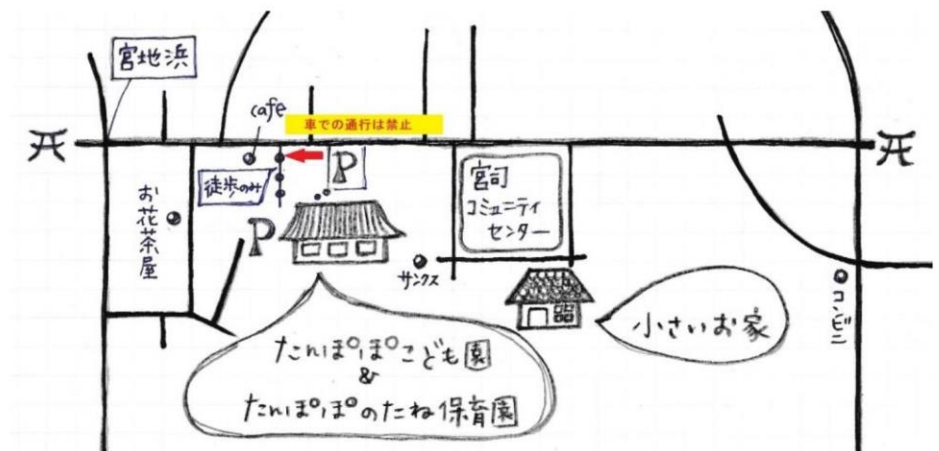
一般社団法人日本アントロポゾフィー医学の医師会代表。二児の母。

#### ・アントロポゾフィー医学とは

シュタイナー教育の提唱者であるオーストリアの哲学者ルドルフ・シュタイナーと、オランダのイタ・ヴェーグマン医師によって研究・実践された医学である。自然科学に基づいた現代の医学に、ルドルフ・シュタイナーが研究した人間の本质や身体的確の発展、人間と自然と宇宙の総合的な進化についての認識を付け加えるものである。世界60か国以上に広がり、ドイツ・スイスでは公的保険が適応される病院や診療所がある。日本では2004年から海外講師を招いての国際アントロポゾフィー医学セミナーが開かれ、医師・医療従事者が研修している。

#### ・賢治の学校ふくおかとは

「子どもたちが生きる希望の持てる社会をつくろう、大人の責任において」を基本理念として子どもが本当に自由な大人へと成長していくことを目指すシュタイナー教育を手掛かりに、子どもたちが安心して過ごし成長していける場を親と教師がともに作っていきます。現在、保育施設「たんぼぼこども園」を中心に小学生土曜クラス、未就園児親子クラス、大人のため学習会などを主催しています。



★ 回りのアントロポゾフィー医療講座は、2018.12.1(土)です。

\* 駐車場はPの所にお停めください。